

第4回 江山地区義務教育学校設立準備委員会（教育環境整備部会）概要について

1 日 時 平成30年12月17日（月） 19時 ～ 20時20分

2 会 場 江山人権福祉センター

3 出席者 【委員】教育環境整備部会員8名
【教育委員会事務局（教育総務課）】職員1名

4 議 事

(1) 校名募集要項について

これまで校名募集した義務教育学校の例を参考に作成した募集要項（案）をもとに協議を行い、別添のとおり委員会に諮ることとした。

【委員意見】

- ・「応募用紙の受け取り場所」、「応募先」に、美和保育園も入れてはどうか。
- ・募集の周知方法に、公民館にポスター大のチラシを掲示してはどうか。
- ・募集の周知方法として、可能であれば、新聞掲載してはどうか。
- ・「新学校名」の募集をすることについて、事務局から報道各社に資料提供してはどうか。
- ・何をもち「江山地区とのゆかり」としてとらえるか。
→どのような「ゆかり」があるかは、具体的な定義を設けず、選考の段階で応募者の「ゆかり」が妥当かどうか判断をしてもいいのではないか。

(2) 校名募集用紙について

議事1で検討した募集要項（案）をもとに、募集チラシ兼応募用紙（案）について協議を行い、別添のとおり委員会に諮ることとした。

【委員意見】

- ・「学年又は年代」を記入していただく必要があるか。
→幅広い年代に親しまれる校名を選考していくことを考えれば、「学年又は年代」も一つの参考になるかと思われる。（事務局）
- ・「学年又は年代」欄について、記載しやすいように「高校生以下」、「一般」というような大きなくくりを明記する。

(3) 校名選定の方法について

これまで校名募集した義務教育学校の例を参考に、選定スケジュール及び選定の手順について協議し、別添のとおり委員会に諮ることとした。

【委員意見】

- ・事前に校内選考をさせるなど、子どもにも選考に係わらせてはどうか。
→非常にいいことではあると思うが、年度末の時期ということもあり、実際のところ、学校としては時間を確保するのが難しい。
→子どもが選考をしなくても、準備委員会による選考の段階で、子どもたちが応募した校名かどうかも一つの判断基準にすることで、子どもたちにとっても校名策定に係わったという気持ちが湧いてくるのではないか。
- ・準備委員会による最終選考において、部会で選定した候補名とは別に、参考として、応募された校名の全リストを委員に配布してはどうか。
- ・選考用紙には、委員の氏名は記入しなくてもいいのではないか。

5 その他

- ・「すごい！学校創造部会」の検討内容になるかもしれないが、江山地区の義務教育学校の特色として、ぜひスポーツにも力を入れていただきたいと考えている。
 - ・例えば、部活動において、ブロックの区切りを境として、小学校課程に該当する学年からでも入部できるようにするとか、個人競技に特化するなど検討してみてもいいのではないか。
 - ・江山ならではの特色を出して、校区外から子どもが集まってくるような仕掛けが何かできないか。
-
- ・次回の部会を、3月12日（火）19:00～20:30 江山人権福祉センターで開催。